



消防だより

消防本部予防課 ☎22-0332 FAX 22-9427

暖房器具の取り扱いにご注意を！ - 火災を未然に防ぎましょう -

毎年、暖房器具による火災が発生しており、中でも、ストーブが原因となる火災が多くなっています。

これから暖房器具を使用する機会が増えます。火災を防ぐために、次の点に注意しましょう。

<ストーブを使用する時の注意点>

- ▶石油ストーブの燃料は灯油です。ガソリンは使用しないでください。
- ▶ストーブの近くに紙・衣類など燃えやすい物を置かないでください。また、ストーブの上で洗濯物を干さないでください。洗濯物が落下して、火災が発生するおそれがあります。
- ▶ストーブを使用するときは、こまめに換気を行ってください。換気が不足すると、灯油やガスが不完全燃焼して、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。

▶地震などの揺れで転倒しないように、固定する必要があるストーブはしっかりと固定してください。

▶煙突がついているものは、指定の金具や支線などを使用して固定してください。

<給油時の注意点>

- ▶石油ストーブに給油する場合は、ストーブの火を消し、火が消えたことを確かめてから給油してください。
- ▶カートリッジタンク式の場合は、給油後、タンクのふたを確実に閉めてください。

<点火や消火の確認>

- ▶点火後は、炎の調節を行い、正常に燃焼していることを確認してください。
- ▶外出時や就寝時には、消火していることを確認してください。

除雪のお願い

消火栓や防火水槽が雪に埋まると、消火用水の確保に時間がかかり、火災が広がり、被害が拡大してしまいます。積雪時には消防署でも除雪作業を行っていますが、管内の消火栓などを全て除雪することはできません。お住まいの周辺で、雪に埋もれた消火栓などがあった場合は、除雪にご協力をお願いします。

消防本部予防課

☎ 22-0337

FAX 22-9427



彦根城博物館 ☎22-6100 FAX 22-6520

https://hikone-castle-museum.jp/

開館時間 8:30~17:00 (入館は16:30まで)



博物館だより

< 私の研究最前線 >

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

「殿様の鷹狩りを支えた人たち」

鷹狩りには、鷹の飼育、鷹の餌の調達、鷹場の管理などに、多くの人々が関わっていました。彦根藩井伊家の鷹狩りを支えた、彼らの具体的な役割を紹介いたします。

【日時】12月3日(土)14:00~15:30

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※資料代100円(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着50人、受付は13:30~)



▲鷹役用状

12月6日(火)まで

「彦根藩井伊家の刀剣」

江戸時代の大名は、名物をはじめとする多くの刀剣を有していました。本展では、当館が所蔵する井伊家伝来の刀剣と豊富な古文書を通して、彦根藩井伊家が所持していた刀剣の全容に迫ります。



▲刀 無銘 伝長船倫光

【長期休館のお知らせ】 12月7日(水)~同31日(土)

博物館では上記の期間中、館内設備の改修工事に加え、年末休館を行うため、長期休館いたします。なお、令和5年(2023年)1月1日(日・祝)より、通常どおり開館いたします。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

令和5年1月21日(土) 和室研修室

子ども向け伝統文化チャレンジ講座

直弼公ゆかりのお茶を楽しもう (協力:石州彦根一會流)

〈対象〉13:30~14:30 小学校低学年/15:00~16:00 小学校高学年
〈参加費〉300円(当日支払い) 〈定員〉各回12人(先着順)

〈服装〉自由(靴下着用必須)

〈申込方法〉12月25日(日)9:00~ひこね市文化プラザチケットセンターの電話・窓口で受付(初日は電話のみ)

令和5年3月5日(日)10:30 エコーホール

彦根亭落語会

「吉弥師匠、勉強させて頂きます! よ方若手4人の会」

〈出演〉桂吉弥、露の紫、桂弥太郎、桂華紋、桂九ノ一 / 豊田公美子(三味線)

【12月10日(土)9:00~予約開始】友の会2,700円

【12月17日(土)9:00~予約開始】一般3,000円

高齢者・障がい者・学生2,800円

桂吉弥と若手4人の落語会です。NHK新人落語大賞決勝進出女優断家の「露の紫」、一番弟子の「桂弥太郎」、NHK新人落語大賞優勝者の「桂華紋」、積極的に独演会を開催し、今最も勢いのある若手の一人「桂九ノ一」の落語を一緒に楽しめる落語会! お見逃しなく!



▲桂吉弥

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

12月の休館日: 5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、29日(木)~31日(土)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】 ▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賞」の表示の設置

みずほ文化センター

令和5年1月14日(土) 14:00 多目的ホール

みずほ寄席vol.46「新春落語まつり」

〈出演〉笑福亭晃瓶、笑福亭恭瓶、笑福亭風高、笑福亭呂翔
入谷和女(三味線) 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

【指定】【発売中】一般 / 前売1,500円、当日1,800円
高校生以下 / 前売1,000円、当日1,200円

「ほっかほかラジオ」でお馴染みの笑福亭晃瓶さん出演の新春落語会です。初笑いは、ぜひみずほ寄席で!



令和5年3月11日(土) 14:00 多目的ホール

石原詢子コンサート 2023 -今あなたに届けたい-

【12月17日(土)発売(窓口9:00~、電話13:00~)】
前売3,000円、当日3,500円

デビュー35周年・芸道生活50年を迎え、名実ともにますます充実した活動を続ける「石原詢子」の魅力あふれるコンサート。



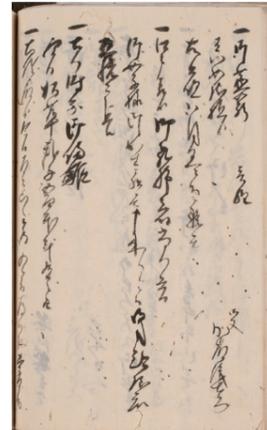
小学生以上 託児あり(有料・要予約)

申込・お問い合わせ先
みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

12月の休館日: 6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)、29日(木)~31日(土)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

①側役日記(彦根藩井伊家文書)【部分】

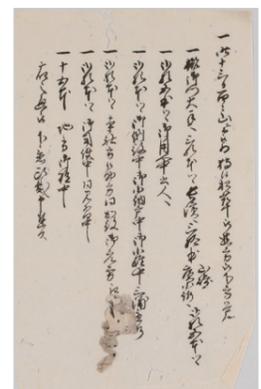


13日(土)に取られた。殿様の鷹狩りに関係する文書で、松茸の採集や鷹の飼育に関する内容が記されています。

彦根城博物館学芸員 荒田雄市

松茸二千五百本——「側役日記」に記された殿様の松茸狩り

彦根城博物館では、令和3年度から「殿様の日常生活」の解明をテーマとし、外部の日本史研究者も招いた研究会を組織して「側役日記」の分析を進めています。今回は「側役日記」から、彦根藩井伊家第十代当主直幸の松茸狩りを紹介いたします。



▲②側役日記(彦根藩井伊家文書)【部分】

明和5年(1768)9月13日の記事に、「今日五つ時(朝8時くらい)、殿様が御殿の奥方口から出発して、鳥居本でお弁当を取り、土佐殿(家老木俣土佐 持山)へ御出でになった。七つ時前(夕方4時くらい)に御殿へ帰られた。今日は松茸が二千五百本ばかり取れた」とあります(写真①)。

まず「土佐殿持山」とはどの山のことなのでしょう。13日の記事だけではわかりませんが、翌14日の記事の部分に挟まれている紙(写真②)に「昨十三日百々山二而被為狩候松茸被進方被下方覚(昨13日に百々山で殿様が狩った松茸を配った方の覚書)」と書かれていることから、松茸狩りは百々山であったことがわかります。百々山は近江

鉄道鳥居本駅の南あたりにあり、松茸の採集に適した地形と気候を有しています。殿様が採った大量の松茸は、殿様の親族や大勢の家臣へ配られていたのです。殿様の松茸狩りは彦根藩における一大行事と言えるでしょう。松茸を通して、殿様と家臣との関係も深まったのではないのでしょうか。

「二千五百本ばかり」もの松茸はどうなったのでしょうか。写真②の紙を見ると、「長浜(直幸の姉であるお数のこと)など殿様の親族や「御側役中」など家臣に配られたことがわかります。その後も殿様は松茸狩りに出かけており、9月18日には奥方と一緒に里根山へ、19日には野田山へ、21日には大洞御山へ、それぞれ行ったことが確認できます。里根山は天寧寺付近、野田山は彦根市野田山町、大洞御山は大洞并財天付近にある山を指すと見られます。こちらで採れた松茸の本数は不明ですが、百々山の時と同じく「家老衆」や「御側医師衆」をはじめとする家臣に配られました。家老衆には30本ずつ、御側医師衆には17本ずつなど、多くが一人10本以上受け取っていました。殿様が採った大量の松茸は、殿様の親族や大勢の家臣へ配られていたのです。殿様の松茸狩りは彦根藩における一大行事と言えるでしょう。松茸を通して、殿様と家臣との関係も深まったのではないのでしょうか。

とよきの玉手箱

博物館からのメッセージ

第315回